

大学スポーツの 未来をつくる ～組織改革の観点から～

順天堂大学工藤ゼミナールB

廣田 健一 上田 至海 小林 弘大

塚本 みなみ 外川 一輝 山崎 ひかり

緒言 ～日本の大学スポーツ～

全国高等学校野球選手権大会や
全国高校サッカー選手権大会など
高校スポーツは盛り上がっている



<http://sans-culotte.seesaa.net/article/160135533.html>

一方大学スポーツは？

いまいち盛り上がり欠け
人気低迷してしまっている



http://www.jpnssport.go.jp/kokuritu/Portals/0/kokuritu/kohosi2011/584img_07.jpg

緒言 ～アメリカの大学スポーツ～

アメリカンフットボールや
バスケットボールなど
プロスポーツにも引けをとらない人気



全てを管理・運営しているのは？

<http://www.hiroshima-u.ac.jp/upload/93/football.jpg>

全米大学競技スポーツ連盟
通称：NCAA と呼ばれる統括組織



緒言

大学スポーツの統括組織の必要性を述べている論文は...

多くが

大学スポーツ界全体の興業やマネジメントに関して言及

特に...

全米大学競技スポーツ連盟(NCAA)をモデルとした
日本版NCAAの必要性を指摘しているものが多い

緒言

	論文内容
宇川 (2008)	・成績管理や奨学金、特待生制 ・スポーツの国際化 → 国共通の取り決めが必要
井上ら	・「アスリート」の育成 → 整備が必要
岡 (2013)	・注目度 ・日本大学CAAカレッジの運営 → 大学スポーツ界に新たな風が吹き、人気向上に繋がる

大学生アスリート自身に焦点をあてたものがあまりない！

緒言

「大学生の学力が低下している」との声も多い
→しかし、学生の学力を数値化したデータ自体が少ない。

成績評価指標のGPAを採用している大学は、
増加傾向にあるが、
平成23年度時点で、453大学(全体の61%)に留まっている。

緒言

日本の大学生の学習時間の少なさが問題視

■ 1日のうち、学業(学校での授業、予習・復習、宿題などを含む)に使う時間

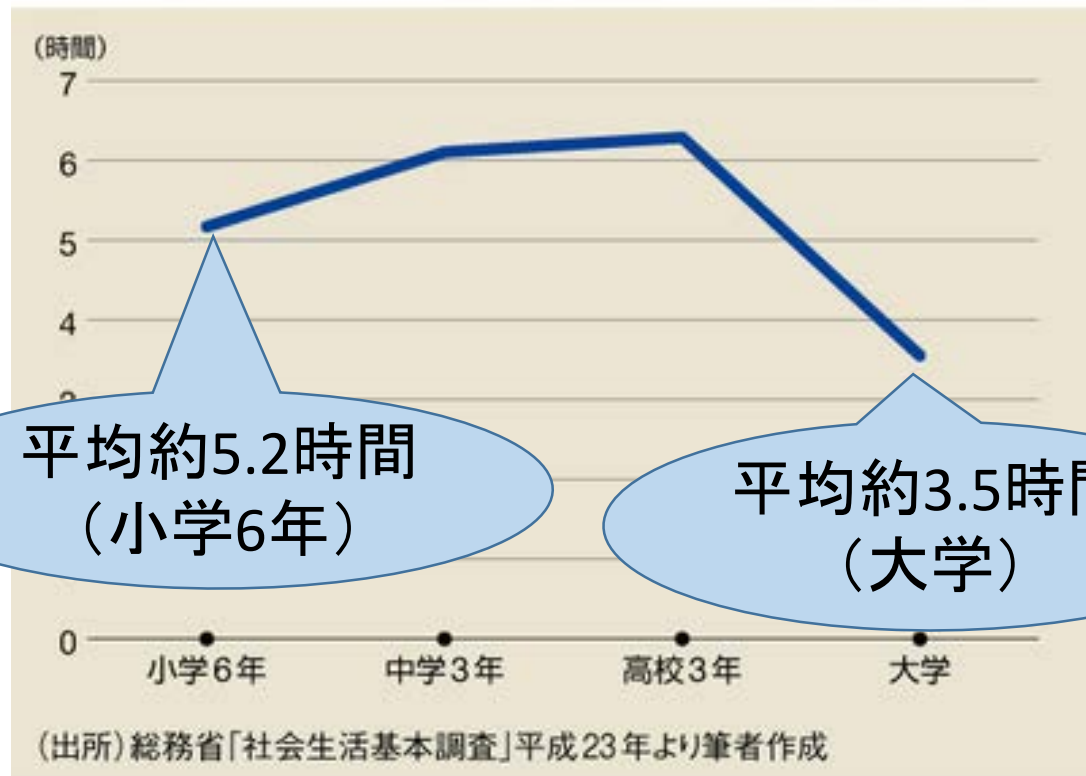


図.2

■ 1日のうち、学業以外の学習に使う時間

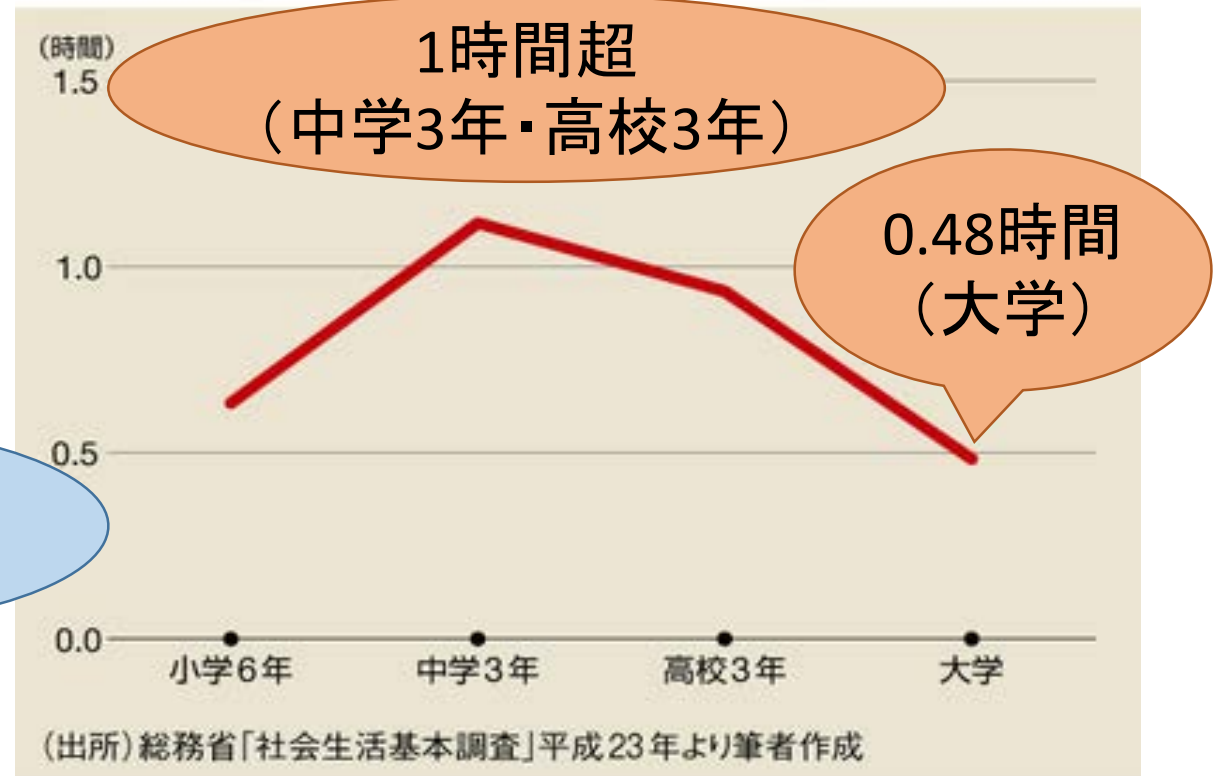
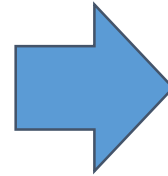


図.3

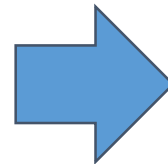
緒言

運動部員が起こした不祥事は大きく報道される傾向にある



大学スポーツは不祥事の温床であるかのような印象

不祥事に対する処分の明確で統一された基準がない



処分が大学任せ
➡処分の程度が違い不平等

緒言

部活が忙し
大学の外
ついて

これでは
大学生アスリートが
危ない!!

プロ野球選手
るから練習だけ
げいいや

緒言

- そこで...

大学生アスリートが
今後の学生生活、そして人生を
HAPPY
に過ごすための仕組み

が今の日本に必要なのではないか？

提言に至るまでの、
日本の大学生・大学スポーツ組織の現状分析

アジェンダ

- ①大学組織について —アメリカのNCAAと比較—
- ②大学生の学業実態について
- ③大学による処分の例について —アメリカのNCAAと比較—
- ④大学スポーツの戦力の一極化について

現状 ①大学組織について —アメリカのNCAAと比較—

NCAA

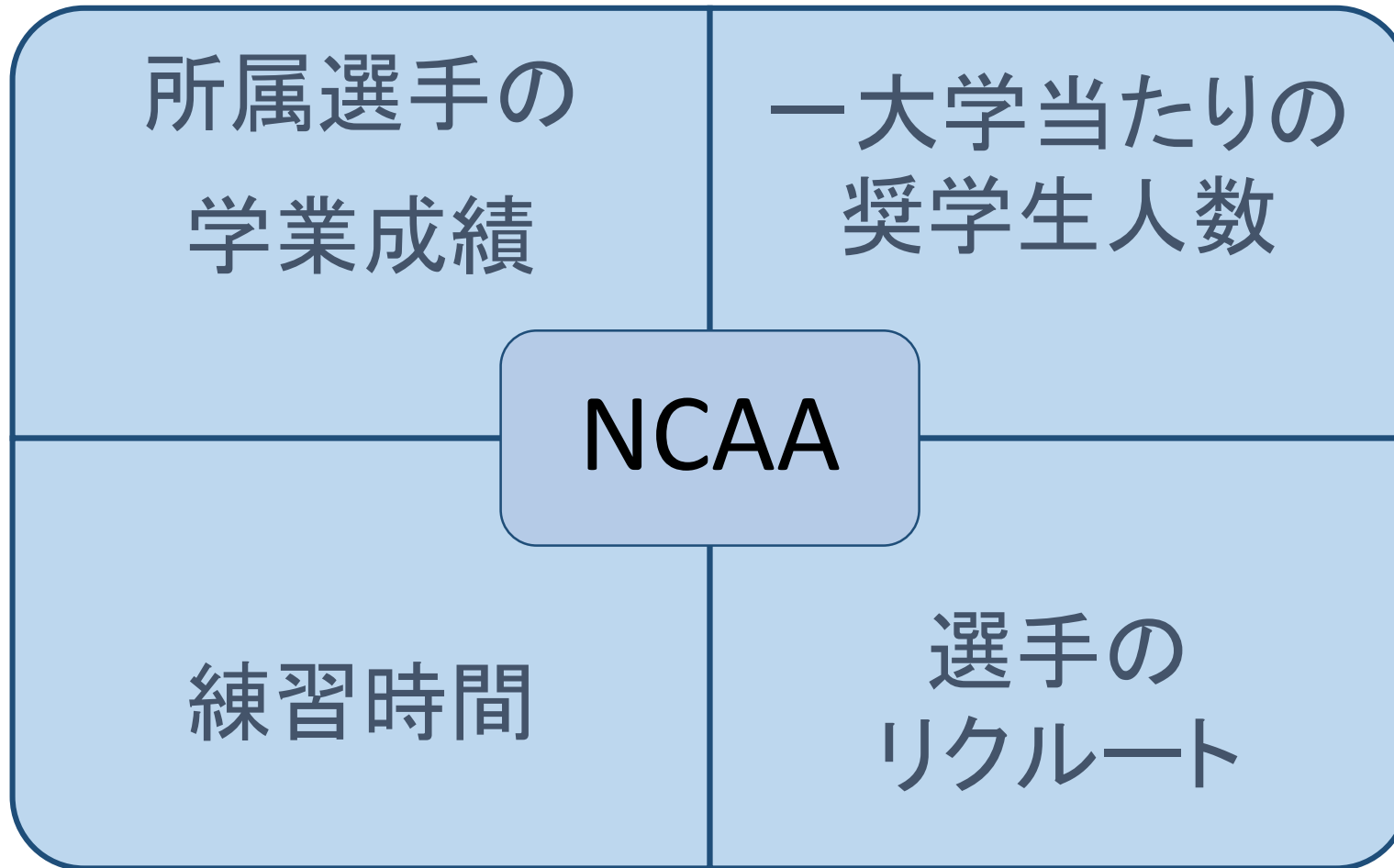
(全米大学競技スポーツ連盟)

とは？

現状 ①大学組織について —アメリカのNCAAと比較—

・アメリカ NCAA

ダブルキャリア



競技における公平さ

図.4

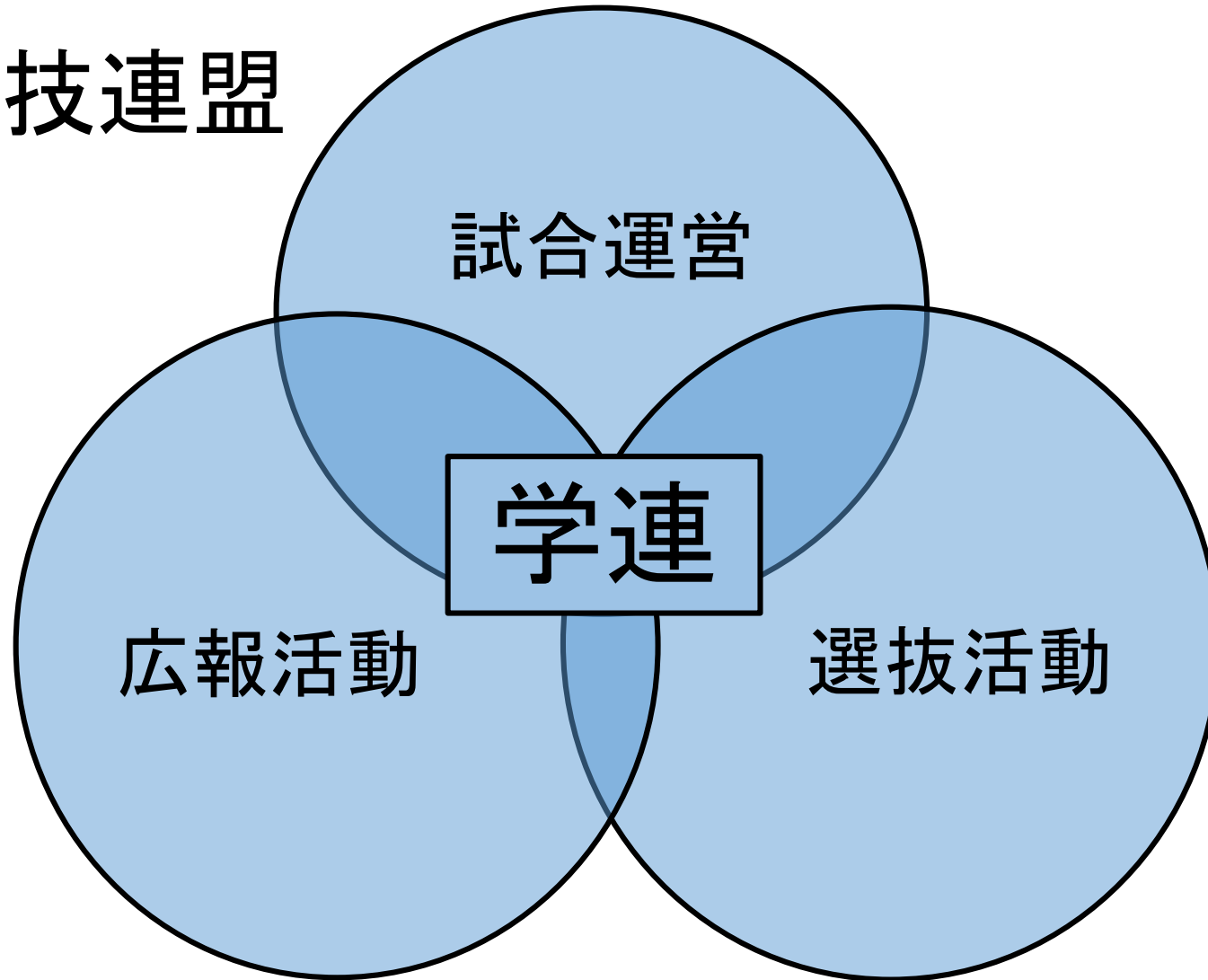
現状

①大学組織について —アメリカのNCAAと比較—

・日本 学生競技連盟

自治活動

学生による



競技ごとに設置

現状

①大学組織について —アメリカのNCAAと比較—

	学生競技連盟		NCAA
学業規定	無し	あり	<u>運動部に所属するための条件</u> 2年次 → ・GPA1.9以上 ・卒業単位の40%以上取得 3年次 → ・GPA2.0以上 ・卒業単位の60%以上取得
懲罰活動	無し	あり	<u>学業規定違反</u> や <u>リクルート違反</u> の際など...
リクルート規定	無し	あり	<u>全額奨学金の制度 (Division.1)</u> アメフトは最大85名 男子バスケットは最大13名 etc...

図.5

現状 ②大学生の学業実態について

大学生の学習時間(1週間当たり)

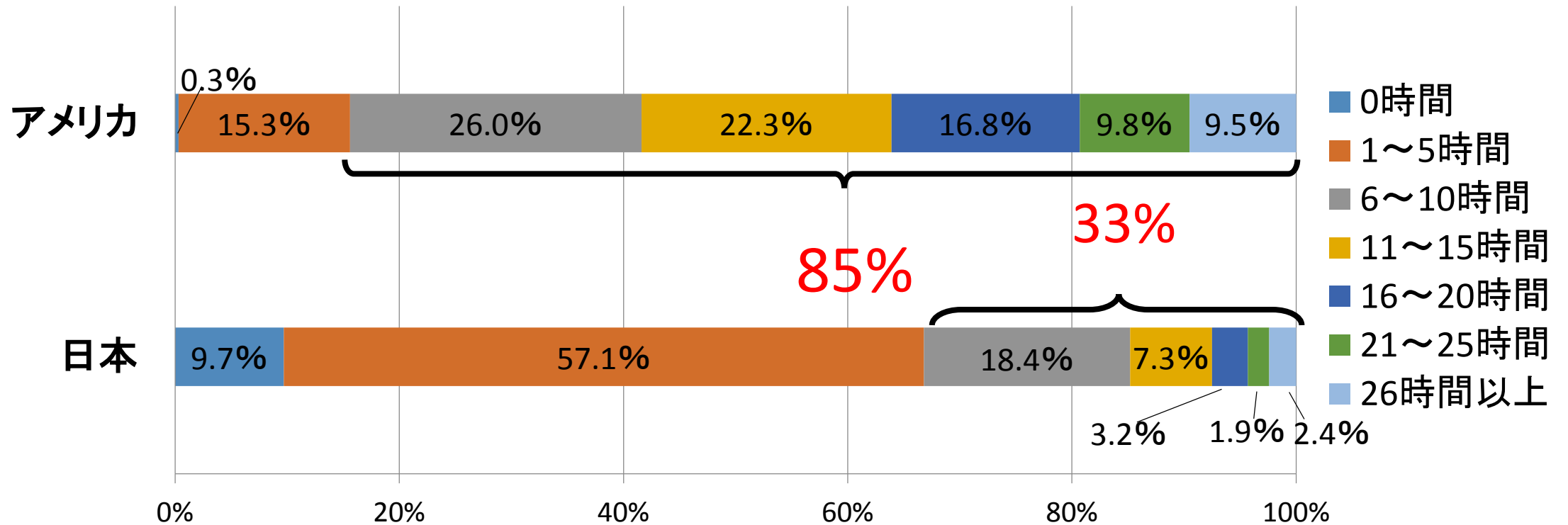


図.6 東洋経済ONLINE「小学生より勉強しない日本の大学生」より作成

現状 ②大学生の学業実態について

大学での成績 優・良・可・不可および未修得の割合(全体・性別・入試方法別)

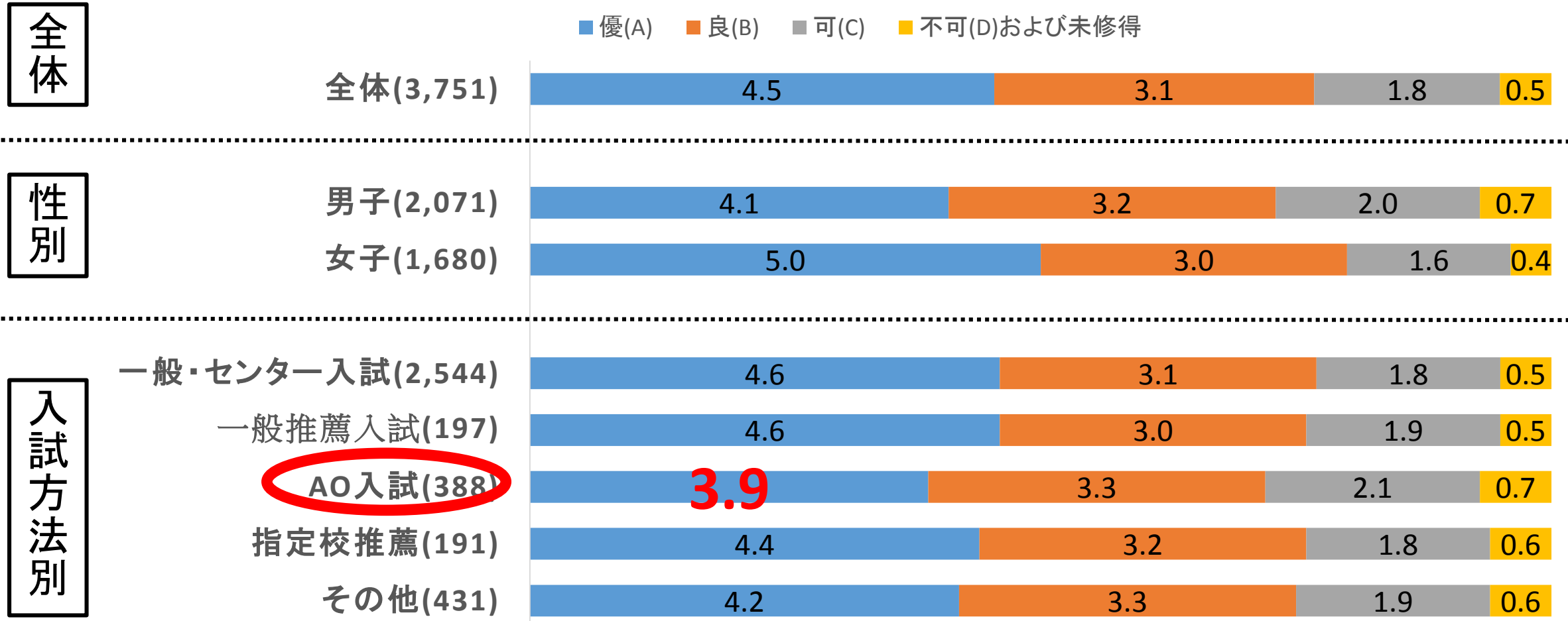


図.7

現状 ②大学生の学業実態について

大学での成績(大学生活への期待別)

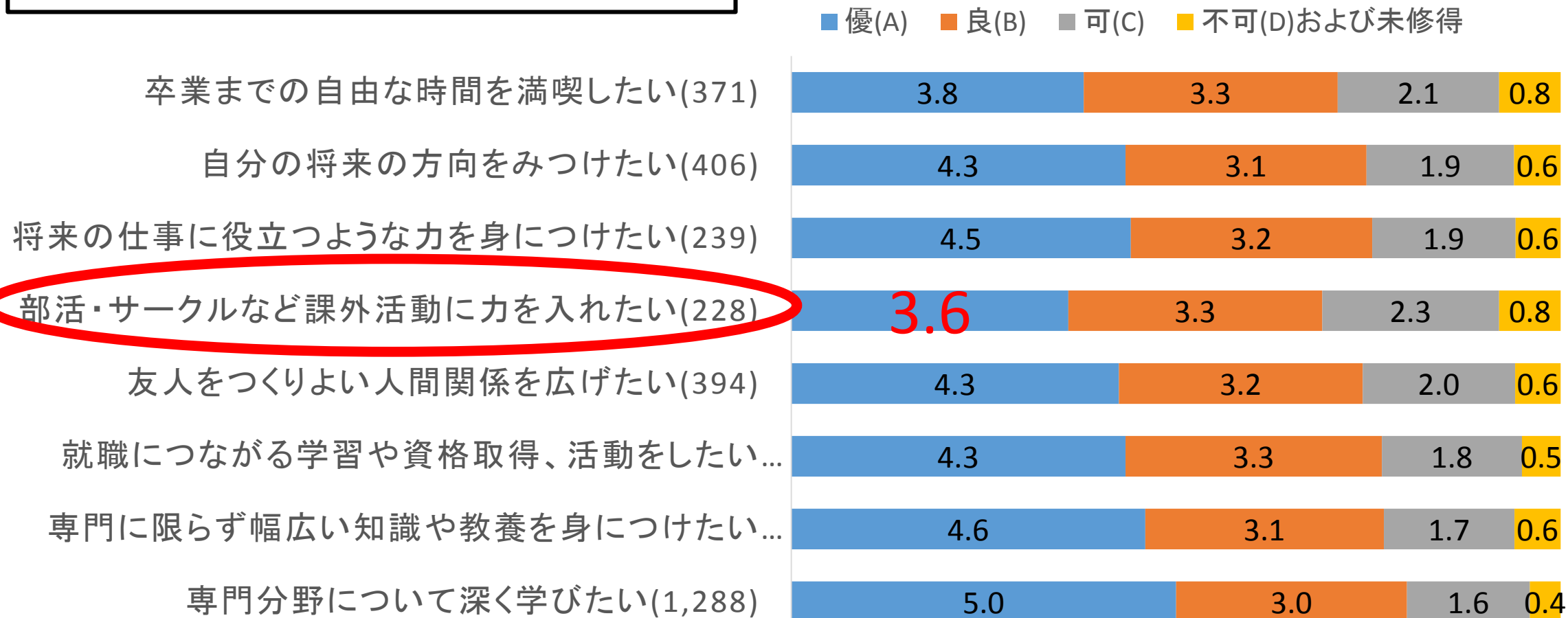
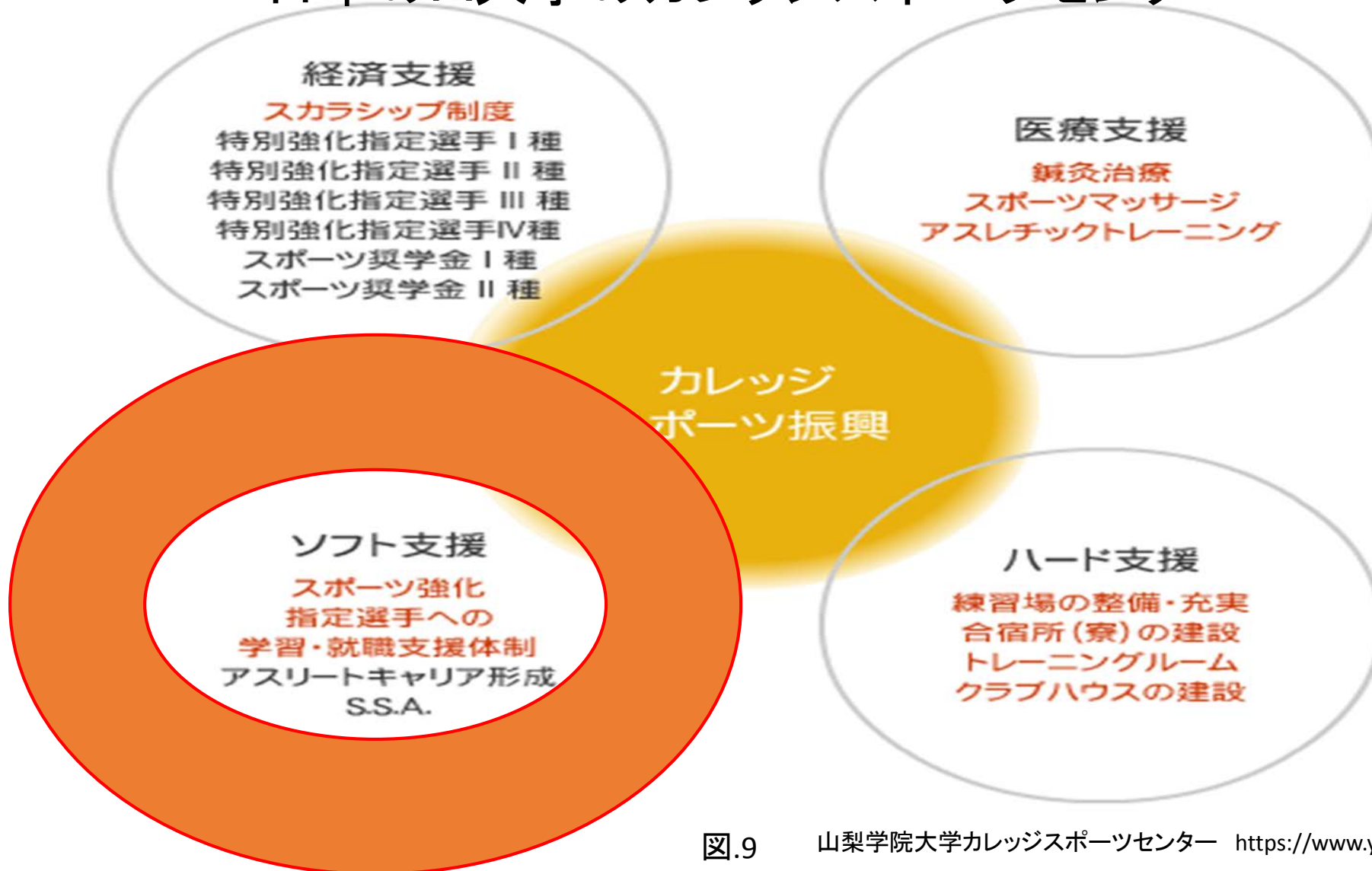


図.8

現状 ②大学生の学業実態について

～ 日本のA大学のカレッジスポーツセンター ～



現状 ②大学生の学業実態について

～ 日本のA大学のカレッジスポーツセンター ～

ソフト支援

アスリートキャリア 形成

それぞれのクラブごとに少人数の授業を行う。
各学部の教授陣とカレッジスポーツセンターが連携し
強化育成クラブの学生に対し、
本格的な学習支援を行う。

SSA (Study Support for Athletes)

教員から推薦を受けた学部生がStudent Adviserを務め、
学習面で遅れがちな学生アスリートを、
正課だけでなく課外の時間においても
支援をする体制。

現状 ③大学による処罰の例について

—アメリカのNCAAと比較—

アメリカの大学事例

2010	X大学 アメリカンフットボール部	代理人関係者から 不当に金品を受け 取る	<ul style="list-style-type: none"> * <u>奨学金付与数10人削減 (3年間)</u> * <u>ポストシーズン出場禁止 (2年間)</u>
2011	Y大学 バスケットボール部	学業成績不振 リクルーティング 規定違反	<ul style="list-style-type: none"> * <u>奨学金付与数2人削減</u> * <u>奨学金付与数1人削減</u>
2012	Z大学 アメリカンフットボール部	過去14年間に渡り、 児童性犯罪を隠蔽	<ul style="list-style-type: none"> * <u>6000万ドルの罰金</u> * <u>ボウルゲーム出場禁止 (4年間)</u> * <u>奨学金付与数20人削減</u> <p>(奨学金付与総数85人→65人)</p>

これらすべてNCAAによる処分

での勝ち星をすべて抹消

現状 ③大学による処分の例について —アメリカのNCAAと比較—

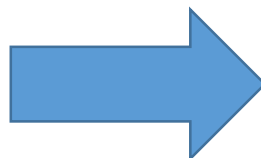
日本の大学事例

2007	B大学ラグビー部	大麻取締法 違反 (2人逮捕)	* <u>2008年3月末まで活動禁止</u> (ラグビー協会) * <u>当事者2名の退学処分・対外試合自粛・ 監督辞任</u> (大学の処分)
		大麻取締法 違反 (3人逮捕)	* <u>2009年度のリーグ戦出場停止、 予算の返還</u> (大学の処分) * <u>無期限活動停止</u> (大学の処分)

なぜ
処分内容
違うの??

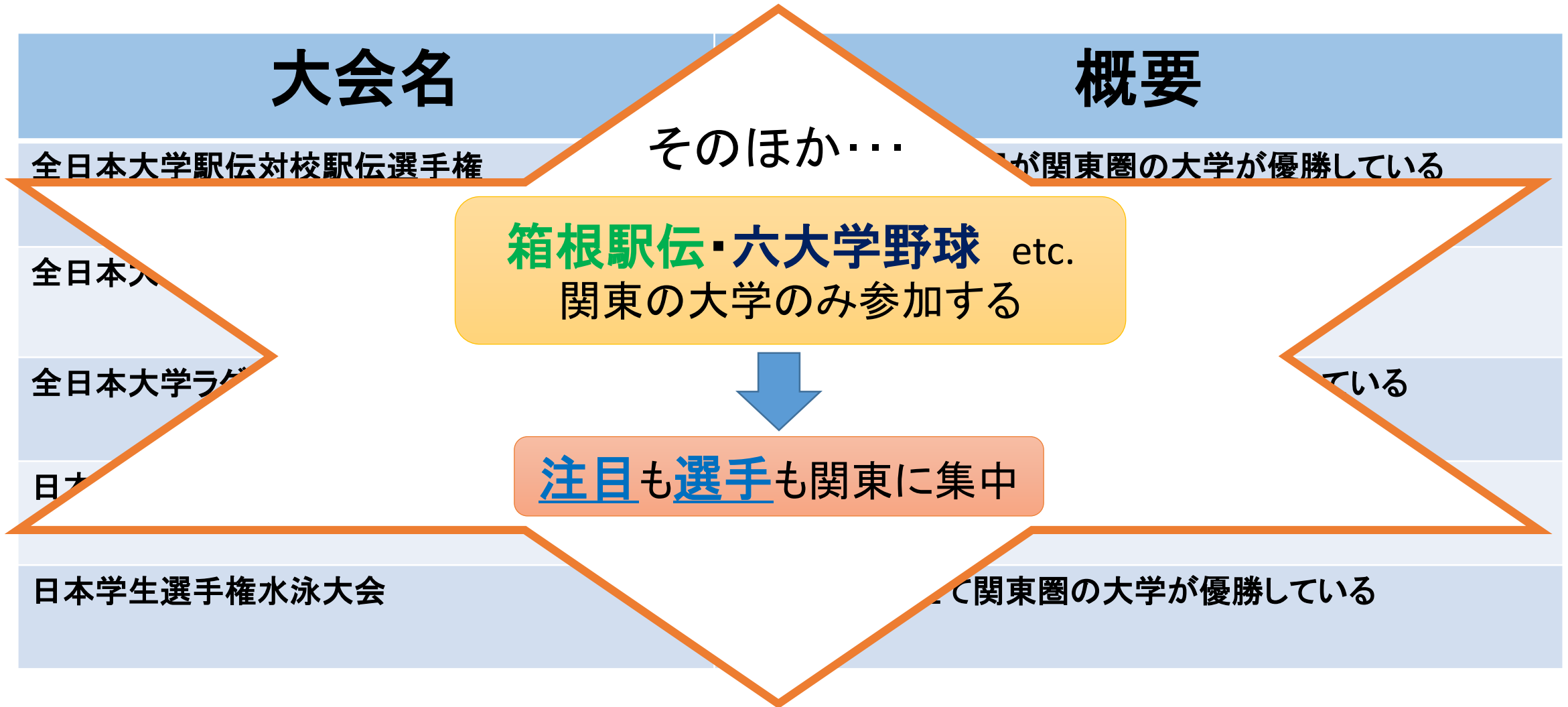
山崎(2010)大学スポーツにおける不祥事を法的に分析する

所属する大学によって
処分の程度が異なる



処分をくだす際の
統一ルールが必要?

現状 ④大学スポーツの戦力の一極集中化について



現状のまとめ

日本の学生競技連盟

学生アスリートの不祥事	→	直接懲罰を与えない
推薦入学に関する取り決めがない		
各種目の強豪校が関東に集中	→	多くの競技で戦力が集中
学業規定がない	→	学業成績が悪いと推測される

日本の大学生アスリート

学習時間	アメリカの大学生より少ない＋小学生よりも少ない	
学業成績	AO入試で合格した学生 ＋ クラブを頑張りたい学生	→ 学業成績が悪い傾向にある

それなら！
学生競技連盟とは別で
学生自身を支援できる、
新しい組織を作ればいいんだ！



提言

規制委員会を設立する！

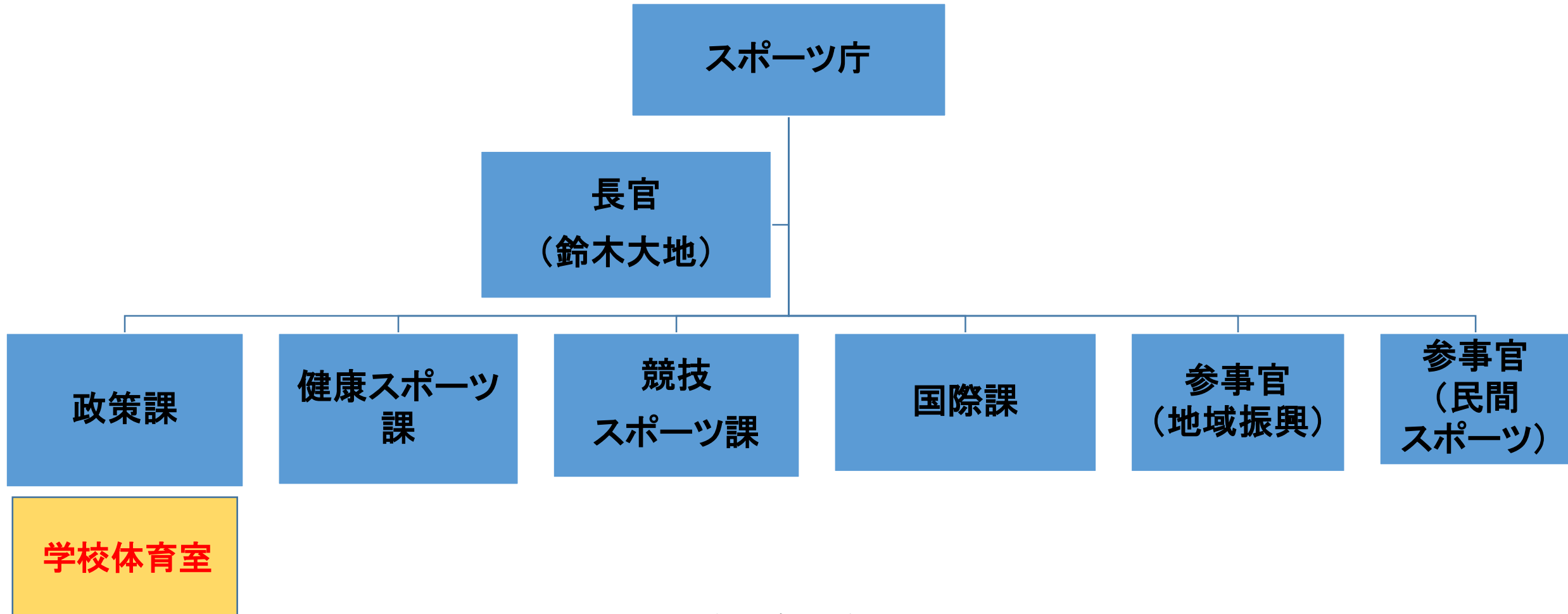


提言

アジェンダ

- ①設置場所について
- ②財源はどこから？
- ③達成すべきミッション

提言 ①設置場所について



提言 ②財源はどこから？

スポーツ庁 主な取り組み

・スポーツ庁の予算

平成27年度予算

平成28年度概算要求額

約289億円

約367億円

子どもの体力向上・学校体育、運動部活動の充実

- 1.子どもの体力向上課題対策プロジェクト(新規事業)
- 2.体育活動における課題対策推進事業(拡充事業)
- 3.運動部活動指導の工夫・改善支援事業(拡充事業)
- 4.武道等の円滑な実施の支援(拡充支援)
- 5.大学スポーツ課題対策改善準備事業(New!!!)

平成28年度概算要求額... 予算56億円

・子どもの体力向上
・学校体育、運動部活動の充実

・健康増進
・地域社会活性化

国際交流・貢献

2020東京大会
に向けた
競技力向上

提言 ③達成すべきMission

(1) 学業規定を設ける。

(2) 懲罰機関としての機能を持つ。

(3) リクルート規定を設ける。



提言 ③達成すべきMission

(1) 学業規定を設ける

・ダブルキャリア

とりあえず**赤点**回避！



提言 ③達成すべきMission

(1)

部活動と並行して学業に取り組む



学力低下の抑制につながる



卒業後に向けて選手のキャリアアップを図る

・年次

提言 ③達成すべきMission

(2)

不祥事への対応が大学ごとに違い
「不平等」という印象を与えやすい



対応を透明化・明確に示すことで
大学スポーツの印象をより良くする

提言 ③達成すべきMission

(3)リ

戦力の集中を防ぐことができる



実力が拮抗する



大学スポーツがよりエキサイティングになる

規制委員会を設立するに当たっての課題

- GPAを取り入れてない、大学へのアプローチは？
- 選手の才能を伸ばしてくれる優秀な指導者の数には限りある。
- 中・高・大学と部活動があるなか、大学だけに新規事業として予算を割り振るのは難しいと予想される。

設立後のVision

学生アスリートが部活も将来も両方とも充実させ、
HAPPYな人生を送ることができる



不祥事への対応がわかりやすくなり
大学スポーツの印象が良くなる

戦力が分散することで、
大学スポーツがよりエキサイティングになる



参考文献

ベネッセ教育総合研究所 大学生の学習・生活に関する意識・実態調査

http://berd.benesse.jp/berd/center/open/report/daigaku_jittai/2012/hon/pdf/data_14.pdf 2015.11.28

東洋経済ONLINE 小学生より勉強しない日本の大学生

<http://toyokeizai.net/articles/-/13446?page=2> 2015.11.28

ここまでするかアメリカ大学スポーツ

<http://thesportsbusiness.jp/archives/1217> 2015.11.28

NCAA(全米大学体育協会)スポーツとはとんでもないビッグビジネスである！

<http://www.plus-blog.sportsnavi.com/kcmosports/article/6> 2015.11.28

大学競技スポーツ組織の現状と今後の展望

<https://ir.lib.osaka-kyoiku.ac.jp/dspace/bitstream/123456789/1479/2/KJ501400193.pdf> 2015.11.28

日本の大学スポーツにおける統括組織の必要性

<http://www.waseda.jp/sports/supoka/research/sotsuron2008/1K05B031.pdf> 2015.11.28

大学スポーツの政策-日本式NCAAの提案-

http://www.ssf.or.jp/spfj/2012/pdf/waseda_t2.pdf 2015.11.28

参考文献

日経ビジネスオンライン なぜ米国は「スポーツバカ」を戒めるのか(上)

<http://business.nikkeibp.co.jp/article/manage/20110530/220306/?rt=nocnt> 2015.11.28

SPORTS NAVI アメリカ大学スポーツ奨学金の全てを説明！米女子サッカーが強い最大の理由とは！？GW大学 渡邊雄太も！日本も採用できる！

http://sp.plus-blog.sportsnavi.com/kcmosports/article/424?article_page=2
2015.11.28

山崎健介 (2010) 大学スポーツにおける不祥事を法的に分析する

アメフトNews Japan <http://www.afnjapan.com/nfl/3994/> 2015.11.28

スポーツ庁組織図 http://www.mext.go.jp/sports/b_menu/soshiki2/1362177.htm 2015.11.28

山梨学院大学カレッジスポーツセンター

<https://www.ygu.ac.jp/sports/support/backup.html> 2015.11.28

文部科学省 スポーツ・青少年局 スポーツ庁 平成28年度概算要求主要事項

www.mext.go.jp/component/b_menu/other/___/08/.../1361293_1.pdf 2015.11.28

NCAA.com – The Official Website of NCAA Championships <http://www.ncaa.com/> 2015.11.28

ご清聴ありがとうございました